

# 2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 国内売上高
- 4) 海外売上高
- 5) 商品群別売上高  
[参考]内訳/COVID-19関連
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 通期業績見通し
- 9) 通期業績見通し 修正のポイント  
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

# 1) 決算概要

	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計	増減率 (%)	(単位:百万円、単位未満切捨て)
売上高	137,046	148,078	8.0	
国内売上高	88,004	96,597	9.8	
海外売上高	49,042	51,481	5.0	← 為替影響除く: +1%
売上総利益 (売上総利益率)	69,113 50.4%	79,188 53.5%	14.6	← 自社品 売上比率: 2020/12 69.1% → 2021/12 72.1%
営業利益 (営業利益率)	15,586 11.4%	23,316 15.7%	49.6	← 販管費: 535億円 → 558億円 販管費率: 39.0% → 37.8%
経常利益	14,697	24,677	67.9	← 為替差損益: 差損1,271百万円 → 差益979百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,882	16,911	90.4	

平均レート	(2020/12)	(2021/12)
1米ドル	106.3円	110.2円
1ユーロ	122.2円	130.9円

## 2) 決算のポイント

### 売上高：前年同期比 8.0%増

- 国内：前年同期に低調だった一部製品の需要が回復、ITシステム商談の再開も売上に寄与。政府予算を背景とした生体情報モニタ、人工呼吸器の整備が継続。
- 海外：全ての地域で前年同期に低調だった一部製品の需要が回復、消耗品・サービス事業の強化が奏功。

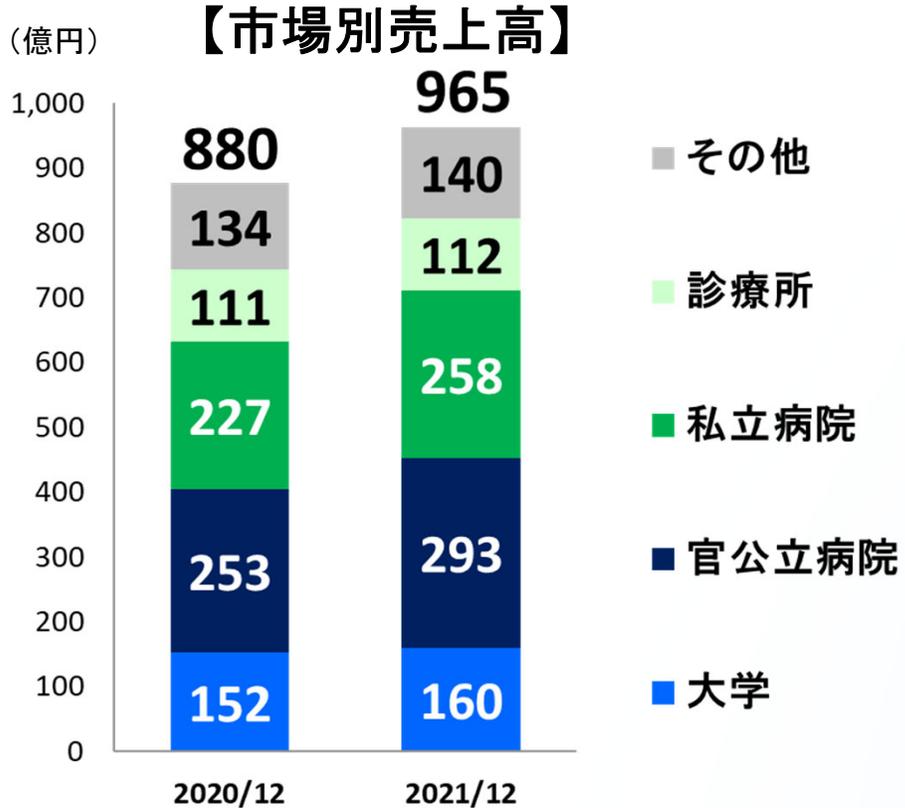
### 営業利益：前年同期比 49.6%増

- 増収効果に加え、売上構成の良化により粗利率が改善したことから、大幅増益を達成。

### 経常利益：前年同期比 67.9%増

- 為替差損益が差益に転じる。

# 3) 国内売上高



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	20,025	20,562	2.7
生体情報モニタ	27,615	34,884	26.3
治療機器	18,828	20,904	11.0
その他	21,536	20,246	△ 6.0
<b>売上高合計</b>	<b>88,004</b>	<b>96,597</b>	<b>9.8</b>

【市場別】 前年同期に低調だった一部製品の需要が回復、ITシステム商談の再開も売上に寄与し、全ての市場で増収。官公立病院、私立病院市場は、政府予算を背景とした生体情報モニタ、人工呼吸器の整備もあり、二桁成長。

【商品群別】 生体計測機器： 診断情報システム、心電計群が二桁成長。脳神経系群も好調に推移。パルスオキシメータの需要も増加。心臓カテーテル検査装置群は現地仕入品の減収影響を除くと二桁成長。

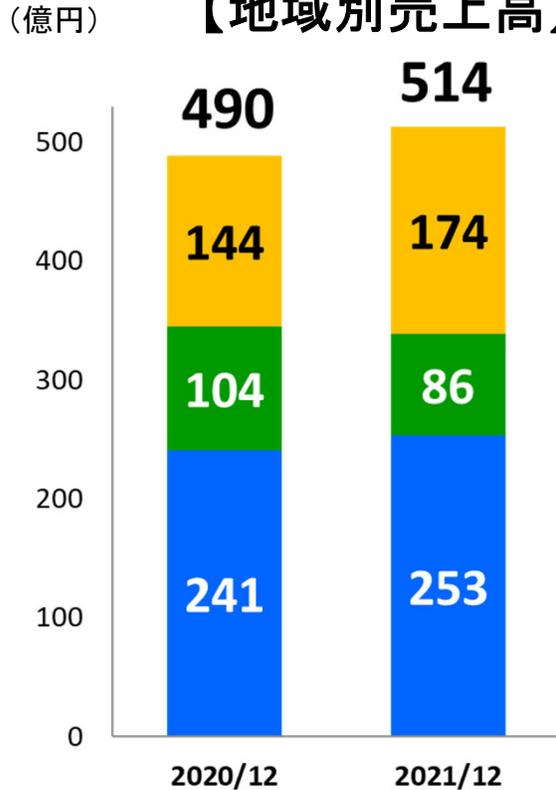
生体情報モニタ： 送信機、ベッドサイドモニタ、臨床情報システムが大幅増収。センサ類など消耗品も二桁成長。

治療機器： 人工呼吸器が大幅増収。除細動器、AEDも好調に推移。

その他： 自社品販売の注力により現地仕入品が減収。検体検査装置、医療機器の設置工事サービスは好調に推移。

# 4) 海外売上高

【地域別売上高】



- **アジア州他**：前年同期比 +21%  
(為替影響除く: +15%)
- **欧州**：前年同期比 △17%  
(為替影響除く: △22%)
- **米州**：前年同期比 +5%  
(為替影響除く: +2%)

【海外売上高比率】

2021/3 第3四半期累計	2022/3 第3四半期累計
35.8%	34.8%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	5,948	6,895	15.9
生体情報モニタ	27,753	27,540	△ 0.8
治療機器	11,700	12,245	4.7
その他	3,639	4,800	31.9
<b>売上高合計</b>	<b>49,042</b>	<b>51,481</b>	<b>5.0</b>

為替影響除く: +1%

**【地域別】** 米州：米国が好調に推移。中南米は前年同期に売上が倍増したメキシコ、コロンビアでの反動により減収。  
 欧州：一部製品の需要は回復したものの、大幅増収となった前年同期の反動を補うには至らず、減収。  
 アジア州他：インド、タイ、マレーシア、エジプトでの売上が倍増。中国、ベトナムも好調に推移。

**【商品群別】** 生体計測機器：脳神経系群が米国、中国で回復、欧州で好調に推移。心電計群は全ての地域で前年同期を下回る。  
 生体情報モニタ：欧州、中南米が前年同期の需要増加の反動により減収。米国、アジア州他は好調に推移。  
 治療機器：全ての地域でAEDの需要が回復。アジア州他、欧州で除細動器が大幅増収。  
 その他：人工呼吸器は前年同期の需要増加の反動により減収、インド、東南アジアでは需要が増加。全ての地域で血球計数器・試薬の需要が回復。

# 5) 商品群別売上高

(単位:百万円)

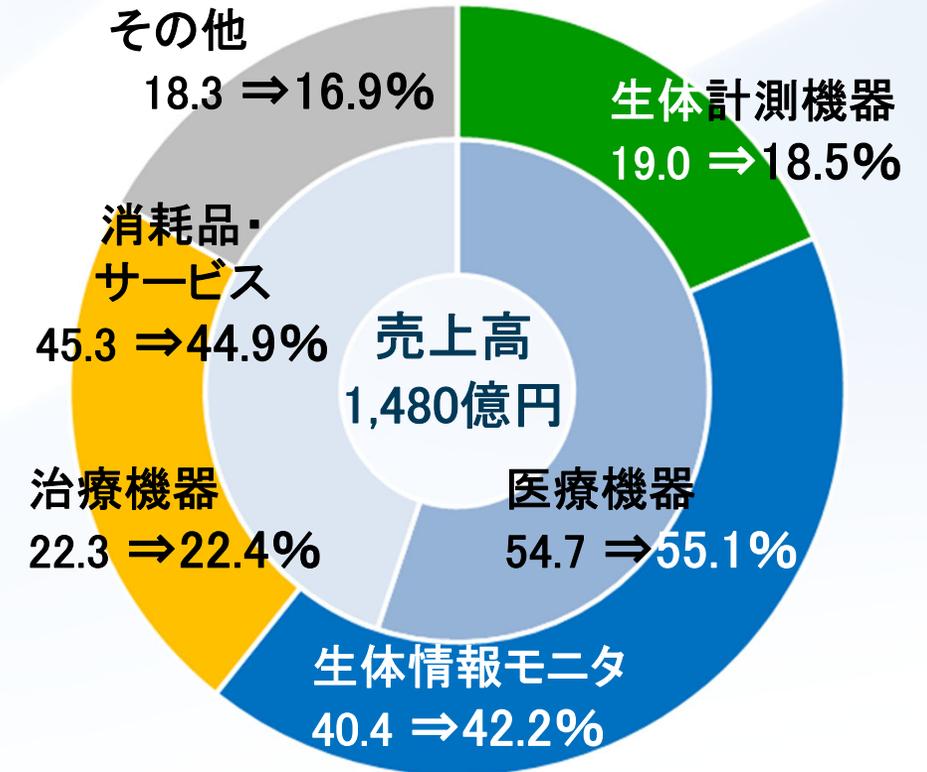
	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	25,973	27,457	5.7
生体情報モニタ	55,369	62,425	12.7
治療機器	30,528	33,149	8.6
その他	25,175	25,046	△ 0.5
売上高合計	137,046	148,078	8.0

(ご参考)

消耗品・サービス	62,036	66,431	7.1
----------	--------	--------	-----

## 商品群別売上構成比

(2020/12 ⇒ 2021/12)



# [参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計
脳 神 経 系 群	43	51
心 電 計 群	46	48
心臓カテーテル検査装置群	107	99
その他(診断情報システム等)※	62	74

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

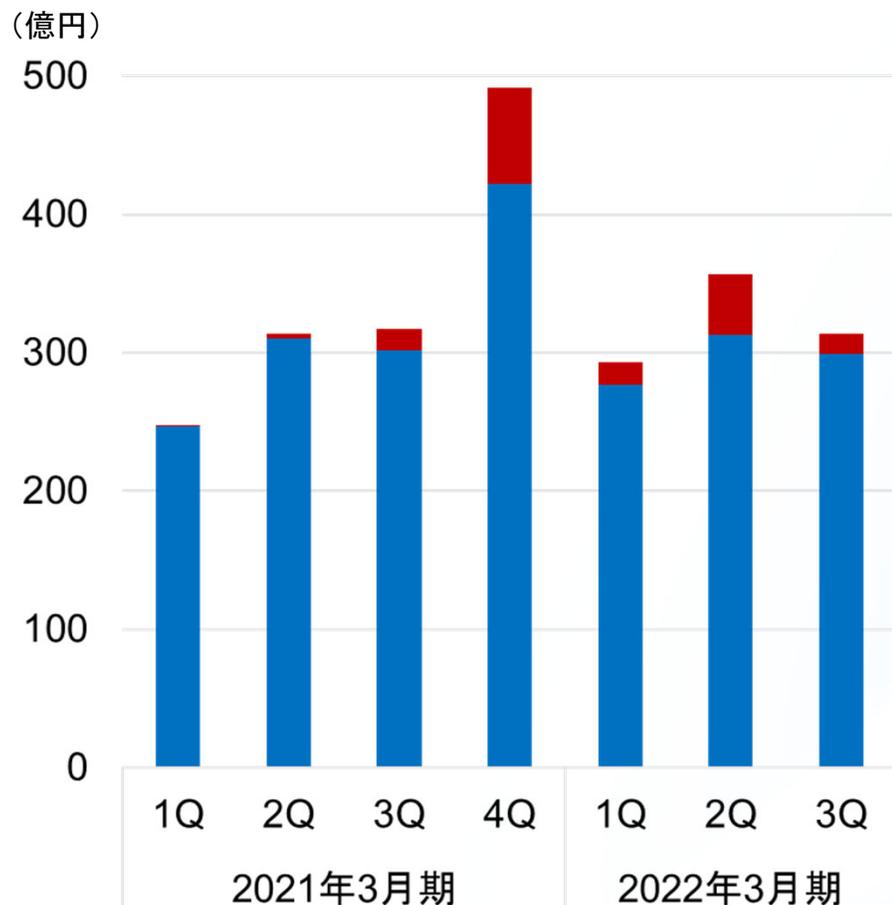
治 療 機 器	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計
医科向け除細動器	52	63
A E D	106	128
ペースメーカー・ICD	20	19
人工呼吸器	80	69
そ の 他	45	50

そ の 他	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計
検 体 検 査 装 置	66	78
画像診断装置、研究用機器他※	185	172

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

# [参考] COVID-19関連需要(概算)

## 【国内売上高】



## 【海外売上高】



■ COVID-19関連  
■ COVID-19関連以外

### 【2022年3月期 第3四半期 COVID-19関連需要】

国内：生体情報モニタ 12億円程度、人工呼吸器3億円程度    海外：生体情報モニタ 5億円強、人工呼吸器 1億円強

# 6) トピックス

## 2022年3月期下期発売の主な新製品

### 生体情報モニタリング事業

#### セントラルモニタ CNS-2101

3Q: 日本



- ICU等で、最大32名まで集中モニタリング
- アイコン化したメニューウィンドウで、患者情報へのアクセスを効率化
- 病院情報システム等との連携により、業務効率の向上をサポート



壁掛け設置  
可能

#### 中位機種ベッドサイドモニタ CSM-1500/1700シリーズ

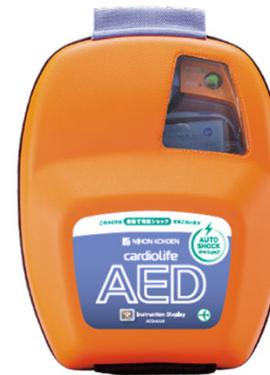
4Q予定: 米国



### 治療機器事業

#### 自動体外式除細動器 AED-3250

4Q: 日本



- 当社初のオートショックAED
- 救助者がショックボタンを押す必要がなく、救助への心理的な負担の軽減、電気ショックまでの時間短縮を目指す



AEDリモート監視  
システムで  
日常点検をサポート

4x0

00:01



このAEDは自動で  
電気ショックをおこないます。

カラー画面にイラストとメッセージで操作方法を表示

4x0

00:37



3秒後 自動で電気ショック。  
体から離れる。

# 7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2021/3 第3四半期 累計	2022/3 第3四半期 累計	増減額	2021/3 前期実績	2022/3 予想		
					期初	11月8日 修正	2月2日 修正
減価償却費	2,334	2,467	132	3,236	3,800	3,800	3,800
研究開発費	4,430	4,040	△ 390	6,357	6,600	6,300	6,100
			設備投資額	3,524	4,100	4,100	4,100

## 【2022/3期 設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備

# 8) 通期業績見通し

(単位:百万円)

	2021/3 前期実績	2022/3予想			増減率 (%)
		期初	11月8日修正	2月2日修正	
売上高	199,727	185,500	201,000	203,000	1.6
国内売上高	137,274	128,000	136,500	136,500	△ 0.6
海外売上高	62,452	57,500	64,500	66,500	6.5
売上総利益 (売上総利益率)	102,233 51.2%	92,100 49.6%	104,000 51.7%	106,500 52.5%	4.2
営業利益 (営業利益率)	27,094 13.6%	16,000 8.6%	25,500 12.7%	28,500 14.0%	5.2
経常利益	28,374	16,000	25,500	29,500	4.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,243	11,000	17,500	20,000	9.6
海外売上高比率	31.3%	31.0%	32.1%	32.8%	

為替影響除く: +1%

## 【地域別海外売上高】

	2021/3 前期実績	2022/3予想			増減率 (%)
		期初	11月8日修正	2月2日修正	
米州	30,288	29,000	31,500	32,200	6.3
欧州	13,139	9,500	10,000	10,600	△ 19.3
アジア州他	19,024	19,000	23,000	23,700	24.6
海外計	62,452	57,500	64,500	66,500	6.5

※第4四半期の前提為替レートは114円/米ドル、131円/ユーロです。

### 平均レート

1米ドル	105.9円	105円	110円	111円
1ユーロ	123.1円	125円	130円	131円

# 9) 通期業績見通し 修正のポイント

通期売上高  
(前回予想から  
20億円増)

国内売上高  
(前回予想と変わらず)

- 4Qは、生体情報モニタ、人工呼吸器の需要が急増した前年同期から反動の見込み
- 自社品販売の注力により現地仕入品も減収の見込み

海外売上高  
(同20億円増)

- 感染再拡大の一部地域で生体情報モニタ等の需要あり
- COVID-19関連以外の医療機器の需要が回復傾向
- 通期の為替レート的前提を円安方向に見直し  
(1米ドル:110円⇒111円、1ユーロ:130円⇒131円)

営業利益  
(同30億円増)  
経常利益  
(同40億円増)  
親会社株主に帰属する  
当期純利益  
(同25億円増)

- 売上高が前回予想を上回る見込みのため、上方修正
- 売上構成の良化により、粗利率も前回予想を上回る見込み

※ COVID-19変異株の感染拡大および半導体の需給ひっ迫等の影響を織り込んでいますが、今後の動向により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

# [参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2021/3 前期実績	2022/3予想				増減率(%)
		期初	11月8日修正	2月2日修正	構成比(%)	
生体計測機器	37,586	40,700	40,600	39,700	19.6	5.6
生体情報モニタ	78,818	70,900	80,750	81,900	40.3	3.9
治療機器	45,126	36,100	41,450	43,200	21.3	△ 4.3
その他	38,196	37,800	38,200	38,200	18.8	0.0
売上高合計	199,727	185,500	201,000	203,000	100.0	1.6

(ご参考)

消耗品・サービス	85,890	87,200	91,400	92,100	45.4	7.2
----------	--------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.7億円	1.4億円
ユーロ	0.7億円	0.3億円

# 利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

## 将来の企業成長 に向けた投資

- ・ デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- ・ コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究  
開発



設備  
投資



M&A  
提携



人財  
育成



配当

長期安定配当を  
継続

目標:連結配当性向  
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

22/3期  
(予想)

年間配当金:  
(普通配当 52円)  
(70周年記念配当 13円)  
(配当性向:22.0%)



自己株式の  
取得状況

2022/2/3(予定)  
289,800株を取得

自己株式保有見込み:430万株  
(持株比率:4.9%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

**【担当部署】 経営戦略統括部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**